

「さいたま市子ども読書活動推進計画(第四次)」事業実施状況調査表

3つの基本方針
(1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

| 達成度 | | 方向性 | |
|-----|------------------------------|-----|-----------|
| A | 目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた | A | 拡大(新規含む) |
| B | 目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた | B | 継続 |
| C | あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している | C | 縮小(終了も含む) |
| D | 未着手もしくはほとんど達成できなかった | | |
| - | 判定不能、災害等の危機管理上の理由により未達成。 | | |

| 実施方針 | 基本方針 No. | 計画書掲載 | 施策の内容 | 所管・関連部署 | 事業名 | 事業の概要 | 令和3年度の事業実績 | | 令和3年度の目標達成度 | | 令和4年度の事業の方向性 | | |
|-------|----------|-------|---|------------|--|--|--|---|---|---|---|---------------------------------------|--------------------------------|
| | | | | | | | 内容(複数ある場合は分けて記入してください) | | 達成度 | 達成度の理由 | 方向性 | 方向性の理由 | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 普及・啓発 | - | 1 | 「さいたま市子ども読書の日(毎月23日)」の取組 | 子育て支援政策課 | 「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発 | 単独型子育て支援センターにおいて、ポスターを掲示する。 | 単独型子育て支援センターにおいて、ポスターを掲示した。 | B | 事業を予定どおり実施することができた。 | B | 普及のため、ポスター等配布された場合、掲示を行う。 | | |
| | - | 2 | 「冬の読書キャンペーン」の取組 | 子育て支援政策課 | 「冬の読書キャンペーン」の推進 | 単独型子育て支援センターにおいて、子どもの読書活動を推進する取組を実施する。 | 単独型子育て支援センターにおいて、絵本の読み聞かせなど子どもの読書活動を推進する取組を実施した。 | B | 事業を予定どおり実施することができた。 | B | 期間中、単独型子育て支援センターにおいて、読み聞かせ等実施する。 | | |
| | - | 3 | エ 「さいたま市子ども読書の日(毎月23日)」の取組 | 資料サービス課 | 「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発 | 家庭に向けて「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発広報活動を行う。 | 「さいたま市子ども読書の日」の要綱の制定 「さいたま市子ども読書の日」普及啓発のためポスターの作成、配布、掲示及び図書館ホームページでのPR 「さいたま市子ども読書の日」創設記念キャンペーンの実施 | B B B | 「さいたま市子ども読書の日」の要綱を制定した。 「さいたま市子ども読書の日」普及啓発のため、ポスターを500枚作成し、市立図書館や公民館のほか、保育所や児童センター等にも送付し掲示を依頼した。 「さいたま市子ども読書の日」創設記念キャンペーンとして、市立図書館25館でブックガーランドの掲示や図書館の裏側潜入ツアー等のイベントを行った。 | C B B | 令和3年度に制定済みのため終了。 掲示物やキャンペーン等による普及啓発を継続して行う。 今後も「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発のためキャンペーンを実施する。 | | |
| | - | 4 | オ 「冬の読書キャンペーン」の取組 | 資料サービス課 | 「冬の読書キャンペーン」の推進 | 「冬の読書キャンペーン」の取組を行い、家庭での読書が充実するように働きかける。 | 冬の読書キャンペーンの実施 | B | 各課所と連携し、読み聞かせ講座やおはなし会等の事業を実施した。 | B | 引き続き家庭での読書の充実のため、読書キャンペーン等各課所と連携した取組を実施する。 | | |
| | - | 5 | オ 「さいたま市子ども読書の日(毎月23日)」の取組 | 保育課 | 「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発 | 日常の保育や読書活動の中で子どもたちが絵本を楽しめる環境づくりを充実させる。 | 図書館職員や地域ボランティアと連携を図り、「さいたま市子ども読書の日」におはなし会を実施した。 | B | 子ども読書の日(毎月23日)頃に図書館職員や地域ボランティアによるおはなし会を67回実施することができた。 | B | 図書館職員や地域ボランティアと連携を図り、「さいたま市子ども読書の日」の日におはなし会を実施する。 | | |
| | - | 6 | カ 「冬の読書キャンペーン」の取組 | 保育課 | 「冬の読書キャンペーン」の推進 | ポスターや園だより、掲示板等により保護者に家庭読書の楽しさや大切さを啓発する。 | ポスターや園だより、掲示板等により保護者に家庭読書の楽しさや大切さを発信した。 | B | 事業を予定通り実施し、「冬の読書キャンペーン」を保護者に発信することができた。 | B | ポスターや園だより、掲示板等により保護者に家庭読書の楽しさや大切さを伝え、保育園で人気のある絵本の紹介や本の貸出し等を行っていく。 | | |
| | - | 7.1 | ア 児童センターでの子ども読書活動の推進 | 青少年育成課 | 「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発 | 児童センターにおいて、ポスターを掲示、おすすめの本の展示、本の貸出し等を行い、普及啓発を図る。 | ポスターを掲示し、児童の読みたい本やおすすめの本の紹介コーナーを作成、展示を行った。 | B | 事業を予定どおり実施することができた。 | B | 「さいたま市子ども読書の日」の普及のためポスター掲示や本の貸出しの再開、行事等で呼びかけを実施する。 | | |
| | - | 7.2 | | | | 「冬の読書キャンペーン」の推進 | 児童センターにおいて、子どもの読書活動を推進する取組を実施する。 | 「リクエストほんだな」、「児童センターおすすめの本コーナー」を設置し、新刊の購入を行った。 | B | 利用者からのリクエスト本や推薦図書を約105冊購入し、幼児親子に対し読み聞かせを行ったり、展示スペースを設け、新刊の紹介を行った。 | B | ポスター掲示やお薦めの本を展示し、利用者が興味を持ちやすい本の展示を行う。 | |
| | - | 8.1 | イ うらわ美術館での子ども読書活動の推進 | うらわ美術館 | 「冬の読書キャンペーン」の推進 | 企画展の開催に合わせた絵本の読み聞かせ会を実施し、ポスター掲示やSNS等で情報発信を行う。 | 図書館員とボランティアによる絵本の読み聞かせ会 | B | コロナ禍により人数制限をし、実施した。(延べ72名参加) | A | 安心して多くの人に参加してもらえるようにコロナ対策を万全にして実施する。 | | |
| | - | 8.2 | | | | 市内の小学校向けに「本の出張授業」を行い、本に親しみきっかけづくりをするとともに、冬の読書キャンペーンの普及啓発をSNS等と併せて行う。 | SNSによる普及啓発 本の出張授業 | B B | キャンペーン啓発の旨をSNSに投稿し、予定通り実施したが、コロナ禍により出張授業の件数は令和2年度(10校)に比べ、8校と減少した。 本の貸出し件数は令和3年度(6校)に比べ10校となった。教育普及担当が学校へ出向かなくてもその学校の先生が自身で授業を行えるよう参考動画等を作成し活用したため、増加となった。キャンペーン期間中に実際に出張授業の中で冬の読書キャンペーンについて触れ、啓発を行った。 | A B | SNSによる普及啓発を引き続き実施する。さらに各学校に配布されている1人1台端末を通して、児童生徒に情報提供できるよう専用ページを開設するなど整備を行う。 より多くの学校に利用してもらえるようにPR活動に力を入れる。 | | |
| | - | 9.1 | ウ 公民館での子ども読書活動の推進 | 生涯学習総合センター | 「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発 「冬の読書キャンペーン」の推進 | 公民館内にポスター等を掲示するなど、事業の普及啓発を図る。 | 公民館内にポスター等を掲示するなど、事業の普及啓発を図った。 | B | 事業を予定通り実施することができた。 | B | 事業周知のため継続して実施する。 | | |
| | - | 9.2 | | | | 子どもの読書活動推進や保護者への普及啓発活動などの取組を各公民館において実施する。 | 子どもの読書活動推進や保護者への普及啓発活動などの取組を各公民館において実施した。 | B | 事業を予定通り実施することができた。 | B | 他館・他施設の取組や取組シートを参考にしながら、取組の充実にも努める。 | | |
| | - | 10.1 | ケ 「さいたま市子ども読書の日(毎月23日)」の取組 | 指導1課 | 「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発 | 学校図書館内にポスター等を掲示、「さいたま市子ども読書の日」にちなんだ読書活動を各校で工夫して実施する。 | 学校図書館内にポスター等を掲示、「さいたま市子ども読書の日」にちなんだ読書活動を各校の実態を踏まえたり、季節に合わせた工夫をしたり、取組を充実させた。 | B | 学校図書館内にポスター等を掲示、「さいたま市子ども読書の日」にちなんだ読書活動を各校の実態を踏まえたり、季節に合わせた工夫をしたり、取組を充実させた。 | B | 引き続きポスター掲示等で普及啓発を促す。 | | |
| | - | 10.2 | | | | 学校だより、図書館だより等の広報活動を通じて、普及啓発を図る。 | 学校だより、図書館だより等による情報発信を通じて、普及啓発を図る。 | B | 学校だよりや図書館だよりでの情報発信 | B | 学校だよりや図書館だよりでの情報発信のみならず、学校ホームページにおいて各学校における取組を紹介する学校が見られた。 | B | 引き続き情報発信していく中で、学校HPでの発信の充実を図る。 |
| | - | 10.3 | | | | 「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発 | 「さいたま市子ども読書の日」にちなみ、各校で生徒の読書意欲を高める活動を行う。 | 各クラスにお薦めの本の紹介チラシを配布したり、図書館だよりやポスター等を作成し広報したりした。 | B | 事業を予定どおり実施することができた。 | B | 引き続きポスター掲示や図書館だよりでの啓発に努める。 | |
| | - | 10.4 | | | | 学校だより、図書館だより等の広報活動を通じて家庭への啓発 | 学校だより、図書館だより等を活用して、家庭や地域への普及啓発を図る。 | 図書館だよりをホームページにアップし、図書委員のおすすめ本と、新刊の紹介を実施した。 | B | 事業を予定どおり実施することができた。 | B | 引き続きホームページに図書館だよりをアップし、啓発に努める。 | |
| | - | 11.1 | コ 「冬の読書キャンペーン」の取組 | 指導1課 | 「冬の読書キャンペーン」の推進 | 子どもたちへの読書の関心を高め、読書をする機会を増やすとともに、学校図書館を活用する取組を行う。 | 図書委員会が主体となって、福袋やくじ引きなどの企画を考え、図書館利用を促すとともに、多様な本に触れる機会を増やした。 | B | 図書委員会が主体となって行う福袋やくじ引きなどの企画、学校図書館司書や司書教諭を中心として行う朝会等で読書活動や図書館利用を促すとともに、多様な本に触れる機会を増やした。 | B | 引き続き児童生徒の発意発想を生かしながら実施していく。 | | |
| - | 11.2 | 高校教育課 | | | | 「冬の読書キャンペーン」の推進 | 各校で学校図書館を活用する取組を行い、生徒の読書への関心を高める。 | クラス単位で期間中の貸出冊数を競うイベントや、廊下になぞなぞを貼り出し、解くと景品がもらえるというイベントを実施した。 | B | 事業を予定どおり実施することができた。 | B | 引き続きイベント等を実施し、生徒の読書への関心と高める。 | |
| - | 12.1 | 33 | セ 「さいたま市子ども読書の日(毎月23日)」の取組 ソ 「冬の読書キャンペーン」の取組 | 資料サービス課 | 「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発 「冬の読書キャンペーン」の推進 | 毎月23日の「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発を行う。 | PRポスターや図書館ホームページを活用した情報発信 | B | PRポスターの掲示や動画の作成を行い、「さいたま市子ども読書の日」を普及啓発するための情報発信をすることができた。 | B | 「さいたま市子ども読書の日」の普及啓発を継続して行う。 | | |
| - | 12.2 | | | | | 「冬の読書キャンペーン」では、特別イベントや展示等を開催し、図書館への来館を促す取組を行う。 | 各図書館で特別イベントや展示等の実施 | B | おはなし会、おたのしみ袋の貸出、スタンプラリー、保護者向けの読み聞かせ講座などの催し物を各館で実施することにより、図書館への来館を促すことができた。 | B | 引き続き「冬の読書キャンペーン」を実施し、図書館への来館を促す取組を行う。 | | |
| - | 13 | 17 | 子ども読書活動推進のためのSDGs普及啓発 | 資料サービス課 | 子ども読書活動推進のためのSDGs普及啓発 | 本計画で掲げた3つの目標の達成に向けた取組を行うとともに、SDGsの普及啓発を行う。 | 関連絵本の紹介展示やパンフレットの配布 ホームページコンテンツのリニューアル | B B | 中央図書館、武蔵浦和図書館および南浦和図書館でSDGsに関する資料展示及びブックリストの配布を行い、SDGsへの理解を深める取組を行った。 図書館ホームページ内のコンテンツをリニューアルし、「こどもSDGs」のページを新設した。 | B B | 引き続き資料展示やパンフレットの配布を実施していく。 引き続きホームページコンテンツの拡充を図る。 | | |

「さいたま市子ども読書活動推進計画(第四次)」事業実施状況調査表

3つの基本方針
(1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

| 達成度 | | 方向性 | |
|-----|------------------------------|-----|-----------|
| A | 目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた | A | 拡大(新規含む) |
| B | 目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた | B | 継続 |
| C | あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している | C | 縮小(終了も含む) |
| D | 未着手もしくはほとんど達成できなかった | | |
| - | 判定不能、災害等の危機管理上の理由により未達成。 | | |

| 実施方針 | 基本方針 | No. | 計画書掲載数 | 施策の内容 | 所管・関連部署 | 事業名 | 事業の概要 | 令和3年度の事業実績 | | 令和3年度の目標達成度 | | 令和4年度の事業の方向性 | |
|-----------------|------|------------|--------------------|------------------------|------------------------------|--|--|--|--|--|---|--|---|
| | | | | | | | | 内容(複数ある場合は分けて記入してください) | | 達成度 | 達成度の理由 | 方向性 | 方向性の理由 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| (1) 家庭での取組 | | 14 | 19 | ア ブックスタートの推進 | 子育て支援政策課 | ブックスタート事業 | 単独型子育て支援センターにおいて、絵本などが入ったブックスタートパックの配布及び読み聞かせや本の選び方をアドバイスする。 | 単独型子育て支援センターにおいて、絵本などが入ったブックスタートパックの配布及び読み聞かせや本の選び方のアドバイスを実施した。 | B | 事業を予定どおり実施することができた。(対象者数10,211人、引換者数6,259人、引換率61.3%) | B | 年間を通じて、ブックスタートパックの配布及び読み聞かせ等継続実施する。 | |
| | | (1)(2) | 15 | イ 「家読(うちどく)」の推進 | 資料サービス課 | 「家読(うちどく)」の推進 | 図書館ホームページに家読支援のためのページを開設し、情報を発信する | 家読支援のためのページの開設準備 | C | 家読支援のためのページの公開に向けて、概要やページレイアウトの検討を行い、作業計画を作成した。 | B | 家読支援コンテンツを作成するための準備ページを公開する。 | |
| | | (1)(3) | 16.1 | ウ 家庭での読み聞かせの支援 | 資料サービス課 | 家庭における発達段階に応じた読み聞かせ活動の普及啓発 | 家庭における発達段階に応じた読み聞かせの充実を図るとともに、保護者等が子どもの読書に関わることができるような取組を行う。 | 「すくすく読み聞かせダイアリー」や「としま丸読書手帳」の配布 | B | 市内各図書館の窓口及びおはなし会等のイベントで配布した。 | B | 引き続き読書手帳の配布や保護者向け読み聞かせ講座を実施していく。 | |
| | | (2) | 16.2 | | | 子どもと本を楽しむためのコンテンツの作成・PR | 子どもと本を楽しむための案内ページを図書館ホームページに作成し、情報発信を行う。 | 図書館ホームページで絵本の読み聞かせ動画や読書手帳の使用法等のコンテンツを公開 | B | 図書館ホームページ内の「としま丸チャンネル」において、子育て世代が子どもと本を楽しむための情報発信をすることができた。 | B | 引き続きホームページコンテンツを充実させるとともに、子育て世代に向けてデジタルコンテンツの配信等に向けて調査研究を行う。 | |
| (2) 保育所・幼稚園での取組 | | (1) | 17 | ア 絵本に親しめる環境づくり | 保育課 | 絵本等の読み聞かせの実施 | 日常の保育の中に、絵本等の読み聞かせの機会を多くつくる。 | 日々の保育の中での絵本等の読み聞かせを実施した。 | B | 日常的に絵本等に親しみ、楽しむことができた。 | B | 絵本の読み聞かせを通じて想像する喜びや言葉への興味・関心をはぐくむ。 | |
| | | (2) | 18.1 | | | 園だより等による読み聞かせの普及啓発 | 保護者に子どもへの読み聞かせの大切さを伝えるほか、絵本の紹介等も行う。 | 園だより等を通して保護者へ発信した。 | B | 事業を予定通り実施することができた。 | B | 保護者に園だより、クラスだより、懇談会・掲示板等で絵本の紹介や読み聞かせの大切さを伝えていく。 | |
| | | (2) | 18.2 | イ 保護者へ読み聞かせの大切さを発信 | 保育課 | 1日保育士体験等を通じた読書活動の啓発 | 1日保育士体験・保育参加を通して、読み聞かせの大切さや親子のかかわりの楽しさを伝える。 | 1日保育士体験・保育参加の中での絵本等の読み聞かせを行い、保護者にも読み聞かせの体験をしてもらった。 | A | 1日保育士体験・保育参加回数は、新型コロナウイルスの影響で参加方法に制限があったが、940回となり前年度を上回った。(令和2年度657回)絵本を通して家庭における親子の会話や触れ合う時間が増えた。 | B | 1日保育士体験・保育参加の中で保護者に絵本等の読み聞かせを体験してもらい、体験を通して子どものかかわりの楽しさを伝える。 | |
| | | (3) | 19.1 | | | 地域ボランティアによる読み聞かせ等の実施 | 地域との連携を図り、おはなしボランティアによる読み聞かせやストーリーテリング等を行う。 | 地域ボランティアによる読み聞かせ等を実施した。 | - | 新型コロナウイルスの影響で外部のボランティアを受け入れることが困難となり実施回数が減少し、17回となったため。(令和2年度21回) | B | 引き続き、地域ボランティアと連携を図り、事業を継続する。 | |
| | | (3) | 19.2 | ウ 地域との連携推進 | 保育課 | 地域支援事業 | 子どもの年齢に合わせた絵本の紹介、パネルシアター等を通じて、地域の保護者におはなしや絵本の楽しさを伝える。 | 地域子育て支援センターに来園した親子への絵本・紙芝居の読み聞かせを実施した。 | B | 地域子育て支援センターに来園した親子が読み聞かせを楽しみにしていた。 | B | 引き続き、地域子育て支援センターにて読み聞かせの時間を設け、親子とともに楽しめる時間をつくる。 | |
| | | (3) | 20.1 | | | エ 読み聞かせ活動を充実させるための図書館の活用 | 資料サービス課 | 「図書館ブックリストパック」の提供・PR | 保育所や幼稚園での読み聞かせに役立つブックリストパックを提供し、本選びや貸出し等に活用してもらう。 | ブックリストパックの配布に向けて、アンケート調査や実施計画を作成 | B | ブックリストパックの配布に向けて、アンケート調査様式及び実施計画を作成した。 | B |
| | | (3) | 20.2 | 図書館職員によるおはなし会を実施 | 図書館と連携を図り、図書館職員による読み聞かせ等を行う。 | | | 図書館職員による読み聞かせ等を実施した。 | A | 図書館職員と連携を図り実施回数が増加し、39回となったため。(令和2年度26回) | B | 引き続き、図書館職員と連携を図り、事業を継続する。 | |
| | | (3) | 20.3 | 図書館の団体貸出サービス利用 | 図書館と連携を図り、たくさんの絵本等に触れる機会を作る。 | | | 図書館での絵本の貸出しサービスを利用した。 | A | 49回実施し、図書館と連携を図り絵本等に親しむことができた。(令和2年度35回) | B | 引き続き、絵本等に親しむ機会を設けていく。 | |
| | | (3) | 21 | キ 保育士を対象とする研修の実施 | 保育課 | 保育士を対象とする研修の実施 | 保育士の資質向上のため、読み聞かせなどの研修会を実施する。 | 新型コロナウイルスの影響により実施なし。 | - | 研修未実施のため。 | B | 資質向上のため、研修会を年2回実施する。 | |
| | | (3) 地域での取組 | | (1) | 22 | 単独型子育て支援センターでの子ども読書活動の推進 | 子育て支援政策課 | 単独型子育て支援センターにおける読み聞かせ等の実施 | 単独型子育て支援センターにおいて、読み聞かせや本の選び方をアドバイスする。 | 単独型子育て支援センターにおいて、読み聞かせや本の選び方のアドバイスを実施した。 | B | 事業を予定どおり実施することができた。 | B |
| (1) | 23.1 | | | ア 児童センターでの子ども読書活動の推進 | 青少年育成課 | 職員やボランティアによる読み聞かせ、本の閲覧や貸出しなど、来館者が楽しく読書に対する興味やわくわくする取組を実施する。 | 乳幼児事業を中心に職員や図書館職員による読み聞かせを実施した。 | B | 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により、ボランティア団体の受入れを見合わせた。職員が読み聞かせを行い、親子で絵本に親しむ機会を提供した。 | B | 感染状況をみながら、ボランティアの受入れを実施する。 | | |
| (3) | 23.2 | | | | | 資料サービス課 | 読み聞かせボランティア向け講座の開催 | 児童センターと連携し、児童センターで活動する読み聞かせボランティアに向けて支援を行う。 | 「ストーリーテリング講座」及び「読み聞かせスキルアップ講座」のチラシを児童センター18施設へ配布した。 | B | 児童センターで活動する読み聞かせボランティアに講座への参加を呼びかけ、スキルを高めてもらえるよう支援を行った。 | B | 引き続き児童センターで活動するボランティアへ講座の情報提供を行い、活動を支援していく。 |
| (1) | 24 | | | イ うらわ美術館での子ども読書活動の推進 | うらわ美術館 | 本の出張授業の実施 | 市内の小学校向けに「本の出張授業」を行う。 | 本の出張授業 | B | 予定通り実施したが、令和2年度(10校)に比べ、8校と減少した。本の貸出し件数は、令和3年度(6校)に比べ10校となった。教育普及担当が学校へ出向かなくてもその学校の先生が自身で授業を行えるよう参考動画等を作成し活用したため、増加となった。 | B | より多くの学校に利用してもらえるようPR活動に力を入れ、引き続き実施する。 | |
| (2) | 25.1 | | | ウ 公民館での子ども読書活動の推進 | 生涯学習総合センター | 「親の学習事業」において、子どもの読書に関する講座を開催 | 親の学習事業において、「絵本をツール」とした学習プログラムなどを行う。 | 生涯学習総合センターや一部の公民館において、親の学習事業開催時に、図書館職員による読み聞かせ等とともに、絵本をツールとした学習プログラムを実施した。 | B | 事業を予定通り実施することができた。 | B | 引き続き、親の学習事業において「絵本をツール」とした学習プログラムなどを実施する。 | |
| (1) | 25.2 | | | | | 地域ボランティア等による読み聞かせやおはなし会の実施 | 地域ボランティアによる読み聞かせやおはなし会を実施。 | 地域ボランティアによる読み聞かせやおはなし会を実施した。 | B | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部の講座が中止となったが、概ね事業を予定通り実施することができた。 | B | ボランティアと連携し、引き続き事業を実施する。 | |
| (1) | 25.3 | | | | | 公民館文庫活動の実施 | ボランティアによる本の貸出しや読み聞かせ、工作などを実施。 | ボランティアによる本の貸出しや読み聞かせ、工作などを実施した。 | B | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部の講座が中止となったが、概ね事業を予定通り実施することができた。 | B | ボランティアと連携し、引き続き事業を実施する。 | |
| (1) | 25.4 | | | | | 図書館職員によるおはなし会を実施 | 図書館と連携し、図書館職員によるおはなし会を実施。 | 図書館と連携し、図書館職員によるおはなし会を実施した。 | B | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部の講座が中止となったが、概ね事業を予定通り実施することができた。 | B | 図書館と連携し、または連携し、引き続き事業を実施する。 | |
| (3) | 25.5 | 資料サービス課 | 読み聞かせボランティア向け講座の開催 | | | 公民館と連携し、公民館で活動する読み聞かせボランティアに向けて支援を行う。 | 「ストーリーテリング講座」及び「読み聞かせスキルアップ講座」のチラシを公民館59館へ配布した。 | B | 公民館で活動する読み聞かせボランティアに講座への参加を呼びかけ、スキルを高めてもらえるよう支援を行った。 | B | 引き続き公民館で活動するボランティアへ講座の情報提供を行い、活動を支援していく。 | | |
| (4) 学校での取組 | | (3) | 26.1 | ア 学校図書館の環境整備 | 指導1課 | 学校図書館の環境整備 | 児童生徒の主体的な読書活動や学習を支援できるように、図書の配架、推薦図書の展示、室内レイアウト等の環境整備に努める。 | 各学校における学校図書館の環境整備 | B | 司書教諭と学校図書館司書とが連携を図りながら、配架図の工夫や他教育活動(保健、防災等)との関連を意識した環境整備が行われた。 | B | 引き続き学校の実態を踏まえながら実施していく。 | |
| | | (1) | 26.2 | | | 「さいたま市『心を潤すこの一冊』子ども100選」や「さいたま市『心を潤すこの一冊』子ども100選プラス」による読書活動の実施 | 「さいたま市『心を潤すこの一冊』子ども100選」や「さいたま市『心を潤すこの一冊』子ども100選プラス」を活用し、子どもたちの読書活動の充実を図る。 | 「さいたま市『心を潤すこの一冊』子ども100選」や「さいたま市『心を潤すこの一冊』子ども100選プラス」を教職員ポータルサイトと児童生徒用ポータルサイトに掲載することでいつでも活用できるようになり、子どもたちの読書活動の充実を促進した。 | B | 事業を予定どおり実施することができた。 | B | 引き続き電子パンフレットを活用しながら実施していく。 | |
| | | (1) | 27.1 | イ 読書習慣の形成と自主的な読書活動の活性化 | 指導1課 | 「さいたま市『心を潤すこの一冊』子ども100選」や「さいたま市『心を潤すこの一冊』子ども100選プラス」による読書活動の実施(再掲) | | | | | | | |
| | | (1) | 27.2 | | | ビブリオバトル等読書イベントの実施 | 各学校において、ビブリオバトル等の読書イベントを実施する。 | 各学校において、ビブリオバトル等の読書イベントの実施のみならず、図書館だより等で活動の紹介をした。 | B | 事業を予定どおり実施することができた。 | B | 引き続き学校の実態を踏まえながら実施していく。 | |
| | | (1) | 27.3 | | | 全校一斉読書の実施 | 各学校において、全校一斉読書を実施する。 | 各学校において、全校一斉読書を実施した。 | B | 事業を予定どおり実施することができた。 | B | 引き続き学校の実態を踏まえながら実施していく。 | |

「さいたま市子ども読書活動推進計画(第四次)」事業実施状況調査表

3つの基本方針
 (1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

| 達成度 | | 方向性 | |
|-----|------------------------------|-----|-----------|
| A | 目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた | A | 拡大(新規含む) |
| B | 目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた | B | 継続 |
| C | あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している | C | 縮小(終了も含む) |
| D | 未着手もしくはほとんど達成できなかった | | |
| - | 判定不能、災害等の危機管理上の理由により未達成。 | | |

| 実施方針 | 基本方針 | No. | 計画書掲載頁 | 施策の内容 | 所管・関連部署 | 事業名 | 事業の概要 | 令和3年度の事業実績 | | 令和3年度の目標達成度 | | 令和4年度の事業の方向性 | |
|---------------------------|-------------------------------|----------------------|---------|--------------------------|----------------------------------|--|--|--|--|---|---|---|--|
| | | | | | | | | 内容(複数ある場合は分けて記入してください) | | 達成度 | 達成度の理由 | 方向性 | 方向性の理由 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| (4) 学校での取組 | | 28.1 | 26 | ウ 学校図書館を活用した授業などの学習指導の充実 | 指導1課 | 学校図書館司書・司書教諭等の研修実施 | 学校図書館司書・司書教諭の研修会を実施し、組織的な学校図書館教育推進体制の充実を図る。 | 学校図書館司書研修会は令和3年4月6日に参集し、組織的な学校図書館教育推進について説明を行った。 | B | 市立小・中・中等教育・特別支援学校の学校図書館司書165名を対象に、事業を予定どおり実施することができた。 | B | 引き続き感染状況を踏まえながら実施していく。 | |
| | | | | | | | | 司書教諭研修会は令和3年5月にオンデマンドで行い、組織的な学校図書館教育推進について説明を行った。 | B | 市立小・中・中等教育・特別支援学校の司書教諭165名を対象に、事業を予定どおり実施することができた。 | B | 引き続き感染状況を踏まえながら実施していく。 | |
| | | | | | | | | 学校図書館活用事例の共有 | B | 事業を予定どおり実施することができた。 | B | 引き続き研修会等で実施していく。 | |
| | | 28.2 | 26 | ウ | 指導1課 | SDGsなど現代的課題に関連する蔵書の充実 | 各学校において、現代的課題に係る蔵書の充実を図るとともに、特色のある蔵書整備を推進する。 | 各学校においてSDGsに関する蔵書を整備し、展示等を工夫することで貸出しや授業での活用を促進した。 | B | 事業を予定どおり実施することができた。 | B | 引き続き学習センターとしての機能を踏まえ実施していく。 | |
| | | | | | | | | | SDGsなど現代的課題に関連する蔵書の充実 | B | 事業を予定どおり実施することができた。 | B | 引き続き学習センターとしての機能を踏まえ実施していく。 |
| | | 28.3 | 26 | ウ | 高校教育課 | SDGsなど現代的課題に関連する蔵書の充実 | 現代の課題に関連する蔵書を充実させることで、生徒の日常の課題の解決につなげる。 | 授業を行う教職員と連携し、蔵書を充実させている。充実させた蔵書についてパスファインダーを作成し、配布したり、OPAC上でもそのデータを見られるようしたりした。 | B | 事業を予定どおり実施することができた。 | B | 引き続き授業を行う教職員と連携し、SDGsなど現代的課題の解決につながる蔵書の充実にも努める。 | |
| | | | | | | | | | エ 学校図書館コンピュータの整備による機能的な学校図書館運営の支援 | 教育研究所 | 学校図書館のICT環境整備 | 耐用年数を経過した学校図書館コンピュータの入替を順次行い、機能的な学校図書館運営に努める。 | 市内73か所74校の小・中・特別支援学校の学校図書館コンピュータの入替を行い、学校図書館運営の機能性を向上させた。 |
| | | 28.4 | 26 | オ | 指導1課 | 学校図書館ネットワークの充実 | 学校と公共図書館、教育研究所を結ぶネットワーク便を運行する。 | 市立学校と公共図書館、教育相談室、教育研究所を結ぶネットワーク便の運行 | B | 年度初めから年度末まで、滞りなくネットワーク便を運行し、各学校における学習活動等の充実を図ることができた。 | B | 引き続き学校の実態を踏まえながら実施していく。 | |
| | | | | | | | | | カ 保護者や地域のボランティアとの連携による学校図書館の充実 | 指導1課 | 家庭や地域との連携による読書イベントの実施 | 各学校における学校図書館環境整備や読書活動における保護者や地域のボランティアの活用を図る。 | 市立小・中・中等教育・特別支援学校において、各校の実態に応じて保護者や地域のボランティアを活用した読書活動の充実を図ることができた。 |
| | | 27 | キ | 市立高等学校の読書活動の推進 | 高校教育課 | ビブリオバトル等読書イベントの実施 | 読書イベントを学校と連携して実施し、生徒の読書のきっかけや読む本の幅を広げることにつなげていく。 | 図書委員で学年ごとに一度ずつビブリオバトルを実施したり、「本を身近に・本と芸術に触れる」というテーマのもと、角川武蔵野ミュージアムにて図書委員会主催で「文学散歩」を実施したりした。 | B | 事業を予定どおり実施することができた。 | B | 引き続きビブリオバトル等のイベントを実施し、生徒の読書活動の推進に資する。 | |
| 市立高等学校における市立図書館と連携した取組の実施 | 生徒の読書離れの対策を市立図書館と連携して取り組んでいく。 | | | | | 市立図書館とのお薦め本の交換展示や、中央図書館等を舞台に市立高校生による「POPバトル」を実施した。 | B | 事業を予定どおり実施することができた。 | B | 引き続き市立図書館と連携し、双方向型のイベントを実施し、生徒の興味関心を啓発する。 | | | |
| 33 | 28 | ク 「子ども読書の日」に関する取組の充実 | 指導1課 | 「子ども読書の日」に関する取組の実施 | 各学校において、「子ども読書の日」に係る読書イベントを実施する。 | 図書委員会が主体となって、しおり配布やクイズなどの企画を考え、図書館利用を促すとともに、多様な本に触れる機会を増やした。 | B | 事業を予定どおり実施することができた。 | B | 引き続き学校の実態を踏まえながら実施していく。 | | | |
| (5) 図書館での取組 | | 34 | 29 | ア 読書環境の整備・充実 | 資料サービス課 | 読書環境の整備・充実 | 乳幼児期～青年期までの発達段階に応じた資料の収集をする。学習指導要領の改訂やSDGsなど子どもを取り巻く社会変化にも対応できる蔵書構成に努める。 | B | 各図書館の児童・地域担当職員を集め、児童書の見計らい選定会議を毎週金曜日、年間では47回実施し、子どもの成長と子どもを取り巻く社会変化に合わせた適切な資料を収集するよう努めた。 | B | 引き続き、定期的に児童書の見計らい選定会議を実施し、精選した児童書収集を行う。また、社会情勢を踏まえた蔵書構成に努める。 | | |
| | | | | | | | イ 電子書籍サービス等の充実 | 資料サービス課 | 電子書籍サービス等の充実 | 児童書の電子書籍の選定・提供を行う。ICTを利用したデジタルコンテンツの充実を図る。 | 児童書の電子書籍の選定・提供 デジタルコンテンツの拡充 | B B | 児童書の電子書籍コンテンツの充実を図る。 引き続きICTを活用したコンテンツの充実を図る。 |
| | | 36.1 | 30 | ウ | 資料サービス課 | 図書館ボランティア体験プログラム(リブサボ)の実施 | 中・高校生を対象に、図書館ボランティア体験プログラム(リブサボ)を実施し、読書や図書館利用についての関心を高める。 | 市内全11館でリブサボを実施し、本の修理や本の紹介カード作り等を体験した。 | B | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をしながら、市内11館(中央・大宮西部・大宮・与野・北浦和・東浦和・北・春野・桜・武蔵浦和・岩槻)で開催した。延べ150名の中高生が参加し、読書や図書館利用についての関心を高めることができた。 | B | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をしながら開催方法等を見直す。 | |
| | | | | | | | 小学校中学年を対象とする取組の強化 | 小学校中学年を対象に本好きになる取組を行う。 | おはなし会の実施 | B | 小学校中学年を対象に含むおはなし会を全館で321回開催し、幼児・小学生延べ2,175人が参加した。新型コロナウイルスの感染症拡大防止の対策をしながら実施することができた。 | B | 引き続き小学校中学年が本好きになるよう、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をしながら取組を継続する。 |
| | | 36.2 | 30 | ウ | 資料サービス課 | 本や図書館に親しむイベントの開催 | アニメーションの実施 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をしながら、市内3館(中央・武蔵浦和・南浦和)でアニメーションのイベントを合わせて5回開催し、小学校中学年を含む児童延べ42名が参加した。 | B | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をしながら、市内3館(中央・武蔵浦和・南浦和)でアニメーションのイベントを合わせて5回開催し、小学校中学年を含む児童延べ42名が参加した。 | B | 小学校中学年を対象に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をしながら各図書館でアニメーションを実施していく。 | |
| | | | | | | | ビブリオバトルイベントの拡充 | ビブリオバトルイベントを各拠点図書館で開催する。 | 各拠点図書館においてビブリオバトルイベントを行えるよう職員研修を実施 | B | ビブリオバトル研修を実施し、各拠点職員にノウハウを伝えることができた。 | B | 各拠点図書館において新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をしながらビブリオバトルイベントを開催できるよう、開催方法や運用について検討し、準備を進める。 |
| | | 36.4 | 30 | ウ | 資料サービス課 | おはなし会等の実施 | 読書や図書館の利用について、子どもたちの興味や関心を高めるイベントを開催する。 | おはなし会やイベントの実施 | B | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をしながら、おはなし会等のイベントを市立図書館25館で1,024回開催し、延べ10,655人が参加した。 | B | 引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をしながらおはなし会等のイベントを実施する。 | |
| | | | | | | | エ 本や図書館に関する情報発信の充実 | 資料サービス課 | 小学校中学年を対象とする取組の強化 | 図書館ホームページで、本を読むことが好きになるような情報発信を行う。 | 小学生向けのWebコンテンツの拡充 | B | 図書館ホームページ内に読み聞かせ動画や工作等の小学生向けコンテンツを46件作成し、情報発信を行った。 |
| | | 37.1 | 31 | エ | 資料サービス課 | SNS等を活用した中高生向けの読書案内の発信 | SNS等を活用して、本への関心を高める取組を行う。 | 図書館のイベントと連動したWebコンテンツの充実 | B | 中高生向け発信媒体の調査方法やツイッターの運用方針の変更等を検討し、中高生向けWebコンテンツ充実のため準備を進めた。 | B | 「リブサボ」申込方法の改定を検討するほか、図書館のイベントと連動したWebコンテンツの充実を図る。 | |
| | | | | | | | 読書案内など刊行物の発行 | ブックリストや情報誌を作成し、各図書館で配布する。市立小・中・高等・中等教育学校等へ情報提供する。 | 「本は王さま」の作成・配布 「としま丸しんぶん」の作成・配布 「はび」の作成・配布 | B B B | 記者発表を行い、子ども読書の日を記念して「本は王さま2021」を4,500部発行し、図書館ホームページに掲載した。また、「本は王さま2022」の作成を行った。毎年新しく出版される児童書の中から図書館員が選ぶおすすめの本を紹介することができる。 年3回(4月、7月、1月)発行し、各図書館で配布及び図書館ホームページに掲載した。また、市立小学校への配布も行った。 年4回(4月、7月、10月、1月)発行し、各図書館で配布及び図書館ホームページに掲載した。また、市立中学・高等学校への配布も行った。 | B B B | 「本は王さま2023」の編集・作成を行う。 年2回の作成を継続して行う。 年3回の作成を継続して行う。 |
| 38 | 31 | オ | 資料サービス課 | さいたま市ゆかりの児童書の収集と紹介 | 資料サービス課 | 「さいたまゆかり」コーナーの充実 | 石井桃子と瀬田貞二を中心に、さいたま市ゆかりの児童文学者の著作や関連資料の収集、展示、講演会や紹介を行う。 | B | 石井桃子と瀬田貞二に関するクイズを作成し、ホームページ上で公開した。また、石井桃子生誕115年を記念して資料展示を行った。 | B | 引き続き図書館ホームページを活用した情報発信を行うとともに、資料の収集、展示や紹介を行う。 | | |

「さいたま市子ども読書活動推進計画(第四次)」事業実施状況調査表

3つの基本方針
(1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

| 達成度 | | 方向性 | |
|-----|------------------------------|-----|-----------|
| A | 目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた | A | 拡大(新規含む) |
| B | 目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた | B | 継続 |
| C | あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している | C | 縮小(終了も含む) |
| D | 未着手もしくはほとんど達成できなかった | | |
| - | 判定不能、災害等の危機管理上の理由により未達成。 | | |

| 実施方針 | 基本方針 No. | 計画書掲載頁 | 施策の内容 | 所管・関連部署 | 事業名 | 事業の概要 | 令和3年度の事業実績 | | 令和3年度の目標達成度 | | 令和4年度の事業の方向性 | | | |
|-------------|----------|--------|------------------------------|-------------------|------------------------------|---|--|---|---|--|--|------------------|--------|--|
| | | | | | | | 内容(複数ある場合は分けて記入してください) | | 達成度 | 達成度の理由 | | 方向性 | 方向性の理由 | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 図書館での取組 | (3) | 39 | カ 障害のある子どもへのサービスの充実 | 資料サービス課 | バリアフリーサービス | 読書に障害のある子どもたちに、障害に応じた読書サービスを行う。 | ボランティア団体による点訳絵本の作成 | A | 中央図書館等のボランティア団体の協力により、67冊(昨年度39冊)の絵本を点訳した。 | B | 引き続きボランティアグループと連携し、点字絵本の受入れを進め、資料の充実を図る。 | | | |
| | | 31 | | | | 特別支援学校・特別支援学級を対象とするおはなし会の実施 | - | 特別支援学校への訪問や図書館への招待を行い、市内図書館で1回(昨年度3回)、延べ14人(同35人)に集金行事を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年に比べ実施回数が大幅に減少した。 | B | 引き続き学校からの依頼に応じて随時実施する。 | | | | |
| | | | | | | マルチメディアデジジ、LLブックの収集 | B | マルチメディアデジジを7点(昨年度10点)、LLブックを73冊(同5冊)収集した。 | B | 引き続きマルチメディアデジジ、LLブックの選書と収集を行い、資料の充実を図る。 | | | | |
| | (1) | (3) | 40 | キ 多文化・多言語サービスへの取組 | 資料サービス課 | 多文化・多言語サービス | 日本語を母語としない子どもたちや日本の子どもたちに向けて、児童向けの外国語資料の収集や多言語によるおはなし会を開催する。 | 外国語資料の収集 | B | 各館合計で152冊(昨年度478冊)の外国語児童書を新たに受け入れた。 | B | 引き続き各館で資料の収集を行う。 | | |
| | | | | | | | 外国語資料の展示 | B | 各館で年度中に合計3回(昨年7回)、外国語絵本等の展示を行った。 | B | 引き続き各館で資料の展示を行う。 | | | |
| | | | | | | | 多言語によるおはなし会の実施 | B | 各館で合計8回(昨年度9回)実施し、延べ116人(同322人)が参加した。 | B | 引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をしながら各館で多言語おはなし会を実施していく。 | | | |
| | (3) | 41.1 | | | | | 「図書館ブックリストバック」の提供・PR(再掲) | | | | | | | |
| | (1) | 41.2 | | ク 保育所・幼稚園との連携の推進 | 資料サービス課 | 保育所・幼稚園との連携の推進 | 保育所や幼稚園を対象に、訪問招待事業を行い、絵本の貸出しを行う。 | B | 各図書館において保育所や幼稚園を対象に保育園訪問を73回、保育園招待を2回、幼稚園やその他施設への訪問・招待を各1回実施し、延べ3,536人(昨年度3,438人)の園児におはなし会を行った。 | B | 園児がおはなしや絵本に親しみを持つように、引き続き保育所や幼稚園と連携していく。 | | | |
| | | | | | | | 保育所や幼稚園への団体貸出 | B | 各図書館において、保育所や幼稚園を対象に絵本を5,117冊(昨年度6,040冊)の貸出しを実施した。 | B | 引き続き保育所や幼稚園への団体貸出を実施する。 | | | |
| | | | | | | | 団体利用者カードの登録を受け付け、団体貸出サービスを推進する。 | B | 保育園や幼稚園の団体利用カードを新規で19件受付した。 | B | 団体利用のPRや資料の提供を引き続き行う。 | | | |
| | (3) | 42 | | ケ 公民館との連携の推進 | 資料サービス課 | 公民館との連携の推進 | 公民館と連携し、家庭へ向けたイベントを開催する。 | B | おはなし会や映画会等、市内で公民館と連携したイベントを22回開催し、延べ201人が参加した。 | B | 引き続き公民館と連携し、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をしながら家庭に向けたイベントを開催していく。 | | | |
| | (1) | 43.1 | | | | 市立小学校全1年生に読書手帳を配布 | 児童が意欲的に読書活動に取り組めるように、市立小学校全1年生に「とよ丸どくしょてちよう」を配布する。 | B | 「とよ丸どくしょてちよう(1~2年生向き)」を市立小学校1年生に全員配布した。 | B | 市立小学校全1年生に「とよ丸どくしょてちよう」を配布する。 | | | |
| | (1) | 43.2 | | | | 小学校中学年を対象とする取組の強化 | 学校と連携し、小学校中学年を対象に含む取組を行う。 | B | 市内図書館で小学校中学年を対象とした学校訪問を5回実施し、延べ179人に絵本の読み聞かせやブックトーク等を行った。 | B | 小学校中学年を対象に含む読書イベントの開催や学校での読み聞かせ、本の貸出しを行う。 | | | |
| | (1) | 43.3 | | | | ビプリオバトルイベントの拡充 | 学校や図書館等でビプリオバトルを実施する機会が増えるように学校と連携し拡充を図る。 | B | 学校と連携した取り組みを行うための体制を整える。 | B | 学校と連携した取り組みを行うため、ビプリオバトルマニュアル及び「すぐできるセット」を作成する。 | | | |
| | (1) | 43.4 | | コ 学校との連携の推進 | 資料サービス課 | 学校との連携の推進 | 読書手帳の配布 | B | 「とよ丸どくしょてちよう(1~2年生向き)」を30,000部増刷し、図書館と学校で配布。市立小学校1年生には全員配付した。また「3~6年生向きとよ丸読書手帳」を、図書館で配布した。 | B | 子どもが読書習慣を身に付ける手段の一つとして、読書手帳の利用を進めていく。 | | | |
| | | | | | | 職場体験の受入れ | B | 昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、職場体験学習が実施されなかったが、各図書館で職場体験学習のため、37人を受け入れた。 | B | 図書館を深く知り、職場体験として学ぶ機会となるよう、引き続き受け入れを実施する。 | | | | |
| | | | | | | 学校訪問(図書館職員によるブックトークや読み聞かせ)の実施 | B | 各図書館から職員が学校を訪問し、合わせて1,004人(昨年度787人)に本の紹介等を行った。 | B | 児童が本に親しみを持てるように、学校と連携して訪問事業を行う。 | | | | |
| | | | | | | 学校招待(図書館見学他)の実施 | B | 各図書館において図書館見学や町探検で来館した児童合わせて5,126人(昨年度3,976人)に、図書館案内や貸出し体験を行った。 | B | 児童が図書館に日常的に来館し、読書や調べものに利用する機会が増えるように、学校と連携していく。 | | | | |
| (3) | 44 | | サ 学校図書館への支援の充実 | 北浦和図書館 | 学校図書館支援センター事業 | 市立全小・中・高等・中等教育学校及び特別支援学校、教育相談室の授業や取組を資料の側面から支援する。 | 資料の収集を行った。 | B | 教科に沿った内容の資料のほかSDGs関連書籍の充実を図り、資料の購入(750点)を行った。 | B | 資料の収集を継続して行う。 | | | |
| | | | | | | 対象施設への団体貸出を行った。 | B | 市立小・中・高等・中等教育学校及び教育相談室へ団体貸出(27,027点)を行った。 | B | 対象施設への団体貸出を継続して行う。 | | | | |
| | | | | | | 対象施設へのレファレンス支援を行った。 | B | レファレンス支援(3件)を行った。 | B | 対象施設へのレファレンス支援を継続して行う。 | | | | |
| (3) | 45 | | シ 子どもの読書活動推進に関わるボランティアの支援 | 資料サービス課 | 子どもの読書活動推進に関わるボランティアの支援 | 子どもの読書活動に関わるボランティアを支援するため、情報提供や講座を開催する。 | 『ボランティア向け読み聞かせブックリスト』、『続ボランティア向け読み聞かせブックリスト』の配布 | B | 『ボランティア向け読み聞かせブックリスト』及び『続ボランティア向け読み聞かせブックリスト』を各図書館で配布した。 | B | 引き続き、読み聞かせボランティアを対象とするブックリストを配布する。 | | | |
| | | | | | | 子どもの読書活動推進に関わるボランティアの支援 | B | 各図書館において講座を開催したり、図書館職員が学校の読み聞かせボランティアを指導したりするなど、延べ33回(昨年度10回)実施し、257人(同111人)が参加した。 | B | ボランティアの経験年数に見合う指導により、スキルアップが図れるように、指導的役割を担えるボランティアグループと連携しながら、支援を行う。 | | | | |
| (3) | 46 | | ス 児童サービス担当職員の養成 | 資料サービス課 | 児童サービス担当職員の研修 | 児童サービス担当職員を育成するため、内部研修を実施する。また、外部研修への参加を促す。 | 児童サービス担当者研修会の実施 | A | 児童サービス担当者向け研修を年間6回計画し、開催した。 | B | 経験や情報の共有を図り、各館における案内や集金行事に役立つよう、年間4回以上の研修会を開催する。 | | | |
| | | | | | | 児童サービス研修会への参加 | B | 各図書館から埼玉県図書館協会主催の研修会に年間5回参加した。 | B | 児童担当職員が基礎的な知識や技術を身につけられるよう、今後も研修への参加を促していく。 | | | | |
| | | | | | | 児童図書館員養成専門講座への参加 | B | 図書館から1名、日本図書館協会主催の研修会(前期・後期)に参加した。 | B | 指導的役割を果たせる児童担当職員を育成するため、今後も研修会への参加を促していく。 | | | | |
| | - | 47 | さいたま市子ども読書活動推進計画に関する事業実施状況調査 | 資料サービス課 | さいたま市子ども読書活動推進計画に関する事業実施状況調査 | 調査を毎年実施し、事業の充実を図る。 | 「さいたま市子ども読書活動推進計画」に係る所管課の事業実施状況の調査と、さいたま市ホームページでの公開 | B | 各課の取り組み状況を取りまとめ、フィードバックすることで、現状の課題認識と次年度以降の目標設定に役立てることができた。 | B | 各課の取り組み状況を取りまとめ、フィードバックすることで、現状の課題と次年度以降の目標設定に役立てる。 | | | |
| | - | 48 | 読書調査(市立小・中・高等・中等教育学校対象) | 資料サービス課 | 読書調査の実施 | 市立小・中・高等・中等教育学校を対象に読書調査を実施する。 | 市立小・中・中等教育学校を対象にした読書調査を、さいたま市学習状況調査により実施 | B | 昨年度に引き続き、全校調査により小・中学生の読書状況を調査した。 | B | 継続して調査を行う。 | | | |
| | | | | | | 市立高等学校を対象にした読書調査を図書館のアンケート調査により実施 | B | 市立高等学校3校を対象に、抽出により高校生の読書状況を調査した。 | B | 継続して調査を行う。 | | | | |